




9 消耗部品の交換方法

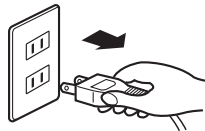
日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

-  **警告** 消耗部品の交換やメンテナンスの時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜いてから行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。
-  **警告** 取扱説明書に記載されている「消耗部品の交換方法」以外の間違った方法で交換すると機械が正常に働かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります
-  **警告** 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。



必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください

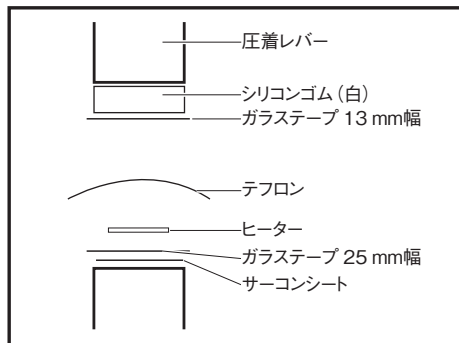


必ず電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。

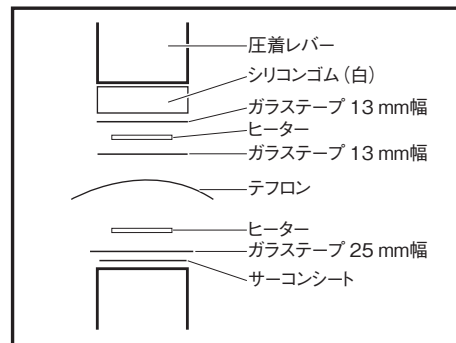
シール部の構造

シール部は下図の部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。

G-301



G-301-10W



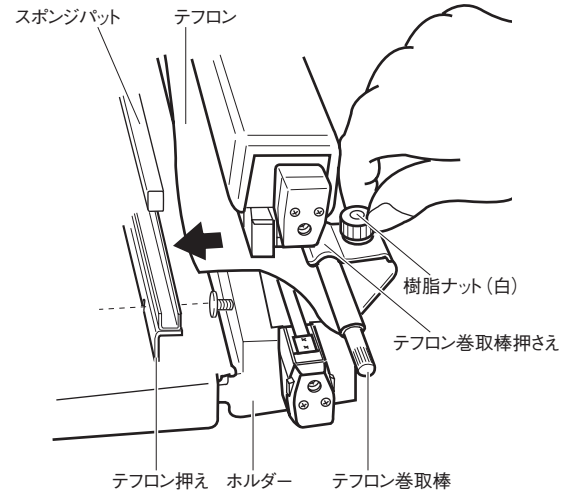
9-1 テフロンのずらし方

【必要物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 テフロンが破れた、焦げた シールが汚い等

テフロンは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 テフロン押えの止めビス3本を緩めてテフロンの端を引き出します。(右のイラストはテフロン押えを取り外した状態で描いています。)
- 2 テフロン巻取棒が回せる程度に樹脂ナット(白)を緩めて、テフロンを矢印の方向に引っ張り出してください。
- 3 テフロンの不要部分をハサミで切り取ります。
- 4 テフロンの端をテフロン押えとホルダーの隙間に入れテフロン押え板を固定するビスを締めてセットします。
- 5 テフロン巻取棒を回してテフロンのたわみをなくしてください。
- 6 樹脂ナット(白)を回してテフロン巻取棒押さえでテフロン巻取棒を固定してください。



9-2 ヒーターの交換

【必 要 物】 プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターが切れた、凸凹が発生した、シールが汚い 等

ヒーターは単品販売、補修部品セット販売しています。

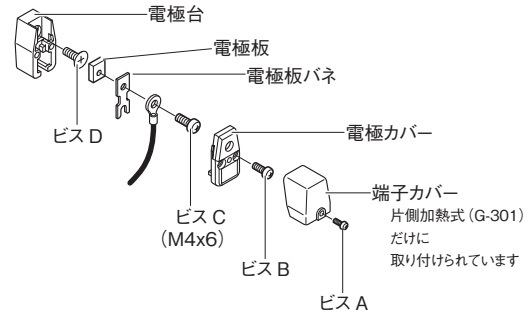
ヒーターを取り付けている電極は、右イラストのような部品構成になっています。

警告 もし誤って、ビス C を紛失した場合、ビス C (M4x6) より長いビスを代用しないようにしてください。ビス C より長いビスを使用すると電極台を固定しているビス D と接触して、ショートする危険性があります。

注意 ヒーター交換時はガラストープ、サーコンシートの破損状況もかならず確認し、傷んでいるようであれば同時に交換してください。ガラストープ、サーコンシートが傷んでいてヒーターと本体フレームが直接接触するとショートする危険性があります。

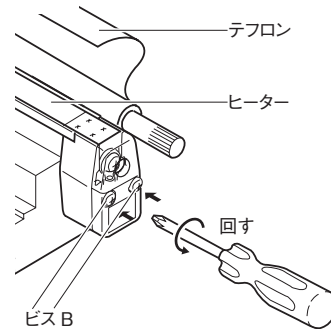
MEMO ビスや電極カバーを紛失しない様に電極カバーをはずさないでヒーターを交換できる構造になっています。

電極部の構成

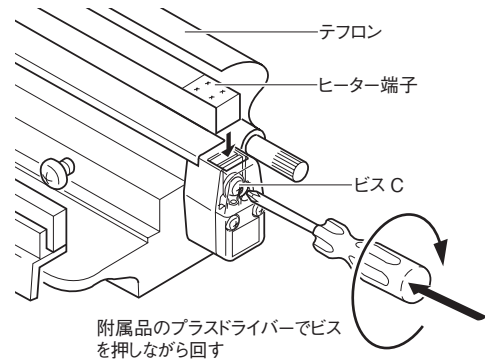


● 下側 (対象: G-301, G-301-10W 共通)

- 1 テフロンをはずします。(「10-1 テフロンのずらし方」をご覧ください)
- 2 左右双方電極のビス A をプラスドライバーで緩めて端子カバーをはずします。(右イラストは端子カバーを取り外した状態です。)
- 3 左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。(電極カバーをはずす必要はありません。)
- 4 左右双方電極の電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。
- 5 取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたままヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。
- 6 3で緩めたビス B を確実に締め付け、ヒーターが左右に張られた状態にします。(ビス B の締め付けが緩いとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります)
- 7 電極に端子カバーをビス A で固定してください。



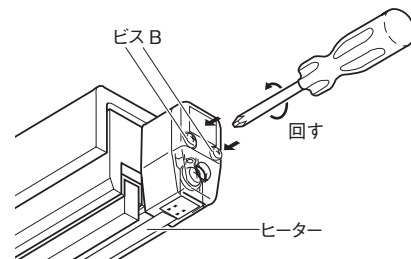
⚠ 注意 ビス B を緩めないで、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。



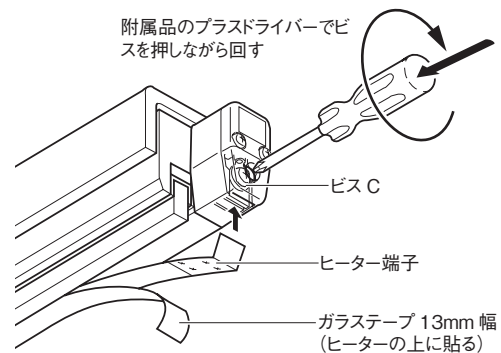
付属品のプラスドライバーでビスを押しながら回す

● 上側 (対象: G-301-10W)

- 1 ヒーター上に貼り付けているガラステープ 13mm 幅をはずします。
- 2 左右双方電極のビス B を緩めてヒーターが左右に張られていない状態にします。(電極カバーをはずす必要はありません。)
- 3 電極カバーの穴にプラスドライバーを差し込み、ビス C を緩めるとヒーターを取り外すことができます。
- 4 取り付ける時は、電極の片方ずつ、電極板と板バネの間にヒーター端子を差し込み、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえたままヒーター止めビス C をドライバーで押しながら締め付けて固定します。
- 5 2で緩めたビス B を確実に締め付けヒーターが左右に張られた状態にします。(ビス B の締め付けが緩いとヒーターが左右に張られた状態にならずヒーターが損傷する原因になります)
- 6 ヒーターの上にガラステープ 13mm 幅を貼り付けてください。



⚠ 注意 ビス B を緩めないで、ヒーターが左右に張られた状態のままになるのでヒーターを取り付ける際に適切に電極板と板バネの間にヒーター端子をセットできなくなります。



9-3 ガラステープ 25mm 幅、サーコンシートの交換

【必 要 物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い等

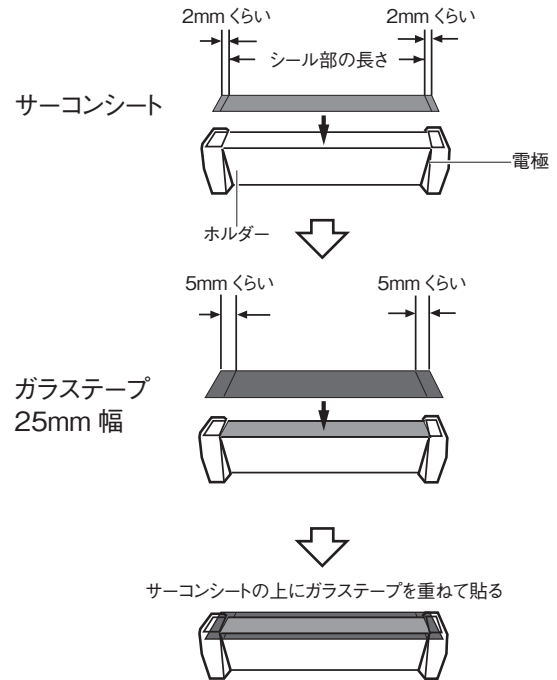
ガラステープ 25mm 幅は単品販売しています。サーコンシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 「9-1 テフロンのずらし方」「9-2 ヒーターの交換」をお読みいただき、テフロン、ヒーターを取り除いてください。
- 2 ヒーター下側のガラステープとサーコンシートをきれいにがしてごください。

注！ 粘着のりが残っている上にサーコンシート、ガラステープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

- 3 新しいサーコンシートをシール部の長さより少し長めに貼り付けます。(1枚)
- 4 ガラステープ 25mm 幅をサーコンシートの上に重ねて貼り付けます。約 5mm ずつシール面の外側(電極の上)から貼り付けてください。(1枚)

注！ ガラステープ 25mm 幅の交換の際に、サーコンシートのホルダーへの貼り付け粘着力が低下してしましたらガラステープとともにサーコンシートも交換してください。



9-4 シリコンゴム (白) の交換

【必要物】 アルコール (エタノール)

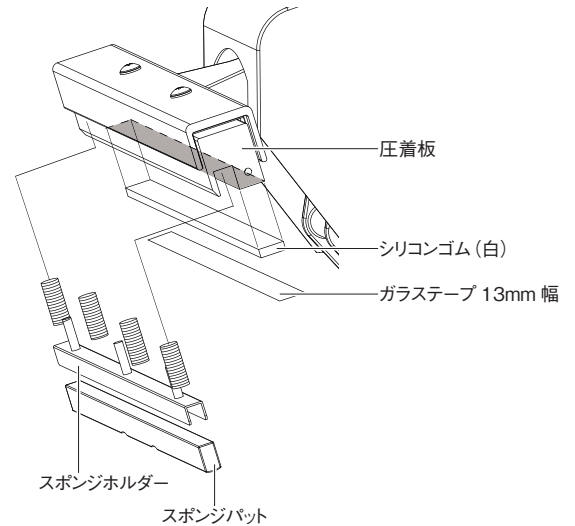
【交換の目安】 シールが汚い 等

シリコンゴム (白) は単品販売、補修部品セット販売しています。

● G-301

- 1 シリコンゴム (白) の上に貼ってあるガラステープ 13mm 幅をはがしてください。
- 2 シリコンゴム (白) を取り去ります。
- 3 圧着板に残った粘着のりをアルコール (エタノール) を使って取り除きます。
- 4 新しいシリコンゴム (白) を圧着板の端から順に (右イラストの圧着板のグレー部分に) 丁寧に貼ってください。
- 5 新しいガラステープ 13mm 幅をシリコンゴム (白) の上に貼ってください。

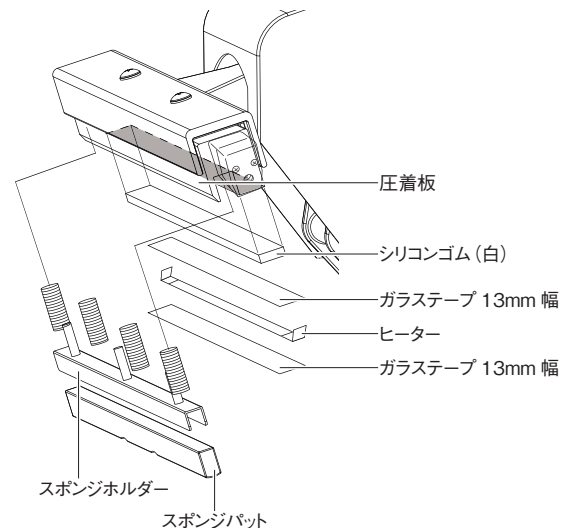
注! 右イラストは、図解のためにスポンジホルダーなどをはずした状態で描いていますが、シリコンゴム (白) はスポンジホルダーなどを取り外すことなく交換することができます。



● G-301-10W

- 1 「9-2 ヒーターの交換 >> ● 上側」をお読みいただき、上側ヒーターに貼り付けてあるガラステープ 13mm 幅と上側ヒーターを取り除いてください。
- 2 シリコンゴム (白) の上に貼ってあるガラステープ 13mm 幅をはがしてください。
- 3 シリコンゴム (白) を取り去ります。
- 4 圧着板に残った粘着のりをアルコール (エタノール) を使って取り除きます。
- 5 新しいシリコンゴム (白) を圧着板の端から順に (右イラストの圧着板のグレー部分に) 丁寧に貼ってください。
- 6 新しいガラステープ 13mm 幅をシリコンゴム (白) の上に貼ってください。
- 7 1でははずした上側ヒーターを取り付けます。
- 8 新しいガラステープ 13mm 幅を上側ヒーターの上に貼ってください。

注! 右イラストは、図解のためにスポンジホルダーなどをはずした状態で描いていますが、シリコンゴム (白) はスポンジホルダーなどを取り外すことなく交換することができます。



9-5 ノズルの清掃と交換

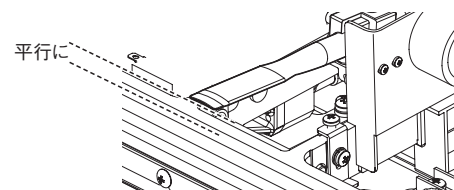
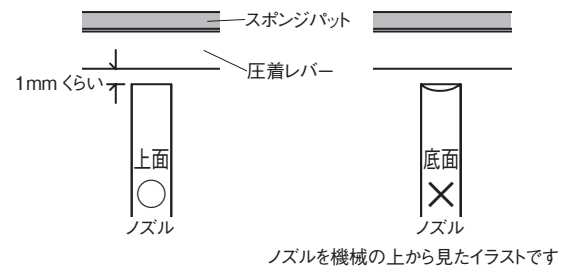
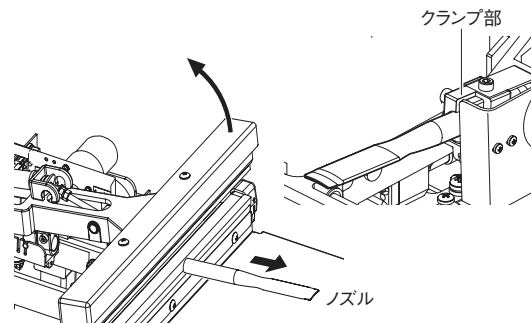
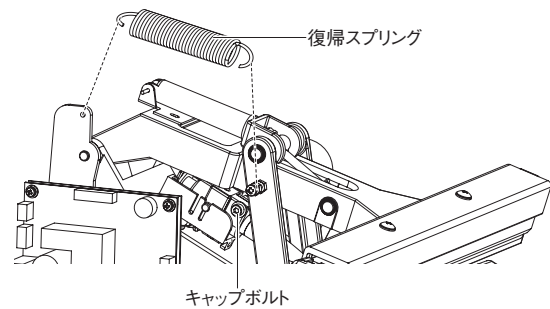
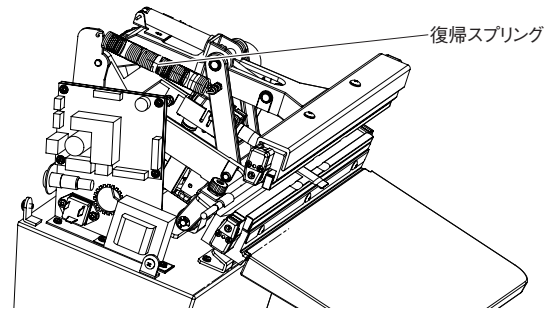
【必 要 物】 プラスドライバー、六角レンチ (3mm)

【交換の目安】 ガスが出ない、ノズルが詰まっている、汚れている

上記の【交換の目安】のような症状が発生した場合は以下の手順でノズルの清掃、または交換を行ってください。

- 1 プラスドライバーで本体カバーを止めているビスを緩めます。上側に持ち上げ本体カバーを抜き取ります。(右イラストは本体カバーを取り去った状態です)
- 2 ノズルが収納された状態で復帰スプリングをはずします。
- 3 ノズルホルダー側面のキャップボルトを六角レンチで緩めます。
- 4 圧着レバーを手で持ち上げノズルを引き抜き清掃してください。
汚れ、詰まりがひどい場合はノズルを交換してください。
- 5 ノズルを取り付ける時は、ノズルの上面が上になる状態にセットし、圧着レバーに対して平行になるように取り付け、3で緩めたキャップボルトを締めて固定してください。

⚠ 注意 キャップボルトの締めすぎに注意してください。



- 6 復帰スプリングを取り付ける時は、上から2番目のイラストをご覧ください、元の箇所正しく取り付けしてください。